

認め合おう、支え合おう、個性輝く出雲市をめざして

出雲市男女共同参画のまちづくり条例を制定

心豊かで活力あるまちづくりを行うには、男女共同参画会の実現が強く求められています。今回は、昨年12月に制定した「出雲市男女共同参画のまちづくり条例」と「出雲市男女共同参画都市宣言」についてお知らせします。また、6ページからは働く場での男女共同参画について考えてみます。



男女共同参画フェスタ2005 みんなで力を合わせて、もちつきをしました（10月16日出雲市女性センター）

条例制定の目的

男女がお互いの人権を尊重し、責任を分かち合い、性別に関わりなく、それぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会をつくるため、全市民が一体となった総合的な男女共同参画のまちづくりを目指して条例を制定しました。

市民の声を反映

条例を策定するにあたっては、たくさんの方の意見を聞くために、男女共同参画のまちづくり懇話会（福澤陽一郎会長、委員20人）を設置し、市民2千人を対象とした市民意識調査の実施や市内7会場で公聴会を開催しました。この結果

条例の内容

この条例は「真に心豊かで活力のある出雲市の創造」を目的とし、市の基本的な考え方を定めたものです。男女の人権尊重や性別による固定的な役割分担の解消などを目標に据え、男女共同参画のまちづくりを進めることとしています。

例えば、市は、子育てや介護などの家庭生活や地域活動・仕事などへ対等に参画できるよう支援を行うほか、地域の社会通念や慣習の見直しなどの意識啓発、ドメスティックバイオレンス（DV・配偶者間暴力）などの防止策と被害者への支援・相談などを行うこととしています。

このほか、市民、事業者、教育関係者が行うべき内容も明確にしています（右下表）。

男女共同参画のまちづくりを進めるためには...

男女共同参画のまちづくりを進めるために、条例では市、市民、事業者、教育関係者はそれぞれ次のことに積極的に努めることとしています。

市は...

- 男女共同参画の推進に関する総合的な施策づくりと実施。
- 必要な財政上の措置を講ずる。
- あらゆる分野において積極的に改善措置を行う。

市民は...

- 家庭、地域、職場、学校などあらゆる分野で男女共同参画によるまちづくりを積極的に推進する。

事業者は...

- 男女共同参画によるまちづくりに関する施策に積極的に協力する。
- 仕事と家庭生活両立のために職場環境の整備などを行う。

教育関係者は...

- 教育の場において男女共同参画によるまちづくりの推進に配慮する。

出雲市男女共同参画都市の宣言をしました

出雲市男女共同参画都市宣言

わたしたち出雲市民は、悠久の歴史をこえて、21世紀に躍る日本のふるさと出雲の創造に向かって

男女がそれぞれ認め合い
男女がそれぞれ支え合い
男女がそれぞれ個性輝き

市民一人ひとりが歴史と文化を誇り、自分らしく生きる喜びに満ちた出雲をめざして

ここに「男女共同参画都市」を宣言します。

平成17年12月16日
出雲市

市では、条例制定にあわせ、「出雲市男女共同参画都市宣言」をしました。これは、市民の皆さんで立ち上げられた「出雲市男女共同参画のまちづくり実行委員会」（福代俊子会長、委員35人）から男女共同参画を市民にわかりやすく理解してもらおうとの提案を受けて、市としてより一層の男女共同参画の推進を図っていくという決意を込めて、都市宣言を行ったものです。

「認め合い・支え合い・個性輝き」という、この宣言には男性も女性も性別にとらわれないことなく、互いの人権を尊重しつつ、責任も分かち合い、のびのびと自分らしく生活できるまちにしたい、そんな想いがこめられています。この男女共同参画都市宣言の制定を記念して、3月4日に記念式典を開催します（詳しくは、下欄）。皆さんご参加ください。

今後の取り組み

この条例に基づき、市民主体の「推進委員会」の意見を聞きながら、男女共同参画について具体的に取組んでいくための行動計画（案）を、今年度末をめどに策定します。

市民の皆さんも、まず家庭や地域職場で男女共同参画について自ら考え行動してみましょ。

男女共同参画についての
おたずねは
市民活動支援課
男女共同推進係
（6528）

新「出雲市」発足記念

出雲市男女共同参画宣言都市記念式典

3月4日(土)
13:30~16:00
出雲市民会館
大ホール

オープニング
～神戸川太鼓やまびこ～
宣言文の発表
男女共同参画推進本部報告
応募作品表彰
男女共同参画川柳、出雲市女性センター愛称
記念講演

入場無料
託児・手話通訳・
要約筆記あり
(託児は予約が必要)



講師 / 鈴木光司 さん（作家）

「新しい歌をうたおう」
～新しい家族のあり方について～

プロフィール
1957年静岡県浜松市生まれ。著書「リング」「らせん」はホラーブームを巻き起こした。自らの子育て体験を通して得た独自の日本人論、発言には多くの共感が寄せられている。現在、政府の「少子化への対応を推進する国民会議」の委員を務める。

主催 / 内閣府、出雲市、出雲市男女共同参画のまちづくり実行委員会
おたずね / 出雲市男女共同参画のまちづくり実行委員会事務局（出雲市女性センター）
（TEL 22 - 2055・FAX 22 - 2085）